



赤十字国際ニュース

2025年 第62号 2025年10月14日

(通巻 第1768号)

日本赤十字社 国際部

東京都港区芝大門1-1-3 TEL 03-3437-7087 / FAX 03-6674-1004

E-mail: kokusai@jrc.or.jp <https://www.jrc.or.jp/>

イスラエル・ガザ人道危機：新しい始まりを支える赤十字

先週末の10月10日に、イスラエルとハマスの停戦合意に基づく第一段階のオペレーションが始まりました。武力衝突が激化して、10月7日で2年が経過し一刻も早い停戦が待たれていたところ（こちら）でした。今回の停戦は、命を救い、苦しみを和らげる人道支援を続けるうえでも、重要な機会です。



©ICRC

■赤十字による解放された方々への支援

赤十字国際委員会（ICRC）は今回のイスラエルとハマスの停戦合意の一環として、10月13日までに、人質20人をイスラエル当局に引き渡すとともに、被拘束者1,808人をガザ地区およびヨルダン川西岸地区に帰還させる支援を行いました。さらに4人の人質のご遺体をイスラエル当局に引き渡しました。

ICRC総裁であるミリアナ・スボリアリッチの声明は次の通りです。

「今回の合意が、解放された人びととその家族、そして何百万人もの市民にとって新たな始まりとなることを願っています。まだ多くの家族が大切な人の帰りを不安の中で待っており、その願いがかなうことを望みます。停戦が維持されなければなりません」

ICRCは2023年10月以降、双方の合意に基づき、これまで複数回にわたって計172人の人質の解放と3,472人の被拘束者の釈放に伴い、移送を支援しています。

現地では食料や清潔な水をはじめとした支援物資の搬入、医療サービスの拡充などが喫緊の課題であり、日本赤十字社は国際赤十字や現地の赤十字・赤新月社と連絡を緊密に取り合いながら、苦しむ人びとへの支援を継続します。

📍 Israel and the occupied territories

“Today is the moment families have waited for and feared might never come. Ensuring people's safe return was a great responsibility for our teams. The operation carried out today shows how lives can be saved if parties to conflict remain at the negotiating table until an agreement is found. I hope this marks a new beginning for those released, for their families and for millions of civilians. More families are waiting anxiously to receive their loved ones and deserve closure. The ceasefire must hold.”

Mirjana Spoljaric
ICRC President

ICRC

ICRC 総裁メッセージ

[「中東人道危機救援金」へのご寄付はこちら](#)



メールマガジン『赤十字国際ニュース』

赤十字が世界中で行っている人道支援活動の最前線と、それをとりまく最新ニュースをメールでお届けします。

メールマガジンへの登録は、左の画像をクリックしていただくか、二次元コードを読み込んだ先の登録フォームからお願ひいたします。

